

「解体撤去実施マニュアル」（作業安全衛生関係）の改訂（案）

1. 概要

「解体撤去実施マニュアル共通編改訂第 2 版」は、2024 年 7 月の PCB 廃棄物処理事業検討委員会でご承認をいただき JESCO ホームページで公表した。同マニュアルは、各事業の解体撤去において得られた知見や新たな制度改正等を踏まえて整理・とりまとめを行い、技術部会・作業安全衛生部会にて審議の上、事業検討委員会の承認を得て公表したもので、今後も随時改訂していくこととしている。

2024 年 12 月の作業安全衛生部会では、「解体撤去実施マニュアル共通編改訂第 2 版」における熱中症と新型コロナウイルス（感染症対策）の記述について審議し、さらに作業安全衛生に関する法令の確認を行い、改訂案を作成した。今回はこの内容について事業検討員会で審議いただくものである。

2. 「解体撤去実施マニュアル共通編」の改訂内容の概要

（1）熱中症の予防（第 8 章 6.(5)：73 頁）

作業を実施する場所における暑さ指数（WBGT：湿球黒球温度）が、WBGT 基準値を超えることが予想される場合には、WBGT 値を作業中に測定するように努めること、また WBGT 値のレベルだけではなく、作業強度も踏まえて、作業の中止もしくは変更等について考慮することを追記した。

（2）新型コロナウイルスに対する感染予防対策（第 8 章 6.(6)：74 頁）

新型コロナウイルス感染症については、令和 5 年 5 月から感染症法上の位置づけが「5 類感染症」に変更され、「建設業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」（令和 5 年 3 月 13 日改訂版、国土交通省）が廃止されたことを踏まえ、季節性インフルエンザ等を含めた幅広い感染症対策として、作業現場における一定の取組を継続することを記載した。

（3）化学物質対策に関する労働安全衛生法関連の改正に伴う事項

○労働安全衛生法関連の改正（令和 4 年 5 月 31 日公布）について、2024 年のマニュアルの改訂に反映したところであるが、今般、化学物質管理者、保護具着用管理責任者、特定化学物質作業主任者の職務内容（リスクアセスメントの実施、保護具の選定等）をより具体化した（第 6 章 2.(5)：49 頁、3.(3)：54 頁、第 8 章 1.(3)：62 頁）。

○解体撤去工事を行う元請業者は、作業者の特殊健康診断と血中 PCB 濃度の測定結果を JESCO に報告する場合、これらに加え作業環境の測定結果、作業の記録、作

業に携わった作業者等を報告するとともに、作業者から取得した JESCO への個人情報提供に関する同意書を提出する。また、JESCO は、提出された同意書・濃度測定結果について、労働安全衛生法等の改正に対応した 30 年間の保存を行う（第 8 章 6.(1)：69～71 頁）。

○作業環境測定の結果、作業場所が第三管理区分に区分される場合は、呼吸用保護具のフィットテストを 1 年以内ごと 1 回実施することを追記し、労働安全衛生法等の改正に対応した（第 9 章 2.(2)：83 頁）。

3. 資料集の主な改訂内容

（1）関係法令、要綱、ガイドライン等（第 1 章 I：5～8 頁）

「関係法令、要綱、ガイドライン等」を最新情報に差し替えた。

添付資料

- ・別紙 1 血中 PCB 濃度データ等の保存体制の検討
- ・別紙 2 「解体撤去実施マニュアル共通編 改訂第 3 版（案）令和 7 年〇月」
- ・別紙 3 「解体撤去実施マニュアル共通編 資料集 改訂第 3 版（案）令和 7 年〇月」